

令和7年6月25日
 島根県健康福祉部青少年家庭課
 児童・女性相談係
 担当：深田、福代
 電話：0852-22-6899
 FAX：0852-22-6045

令和6年度 児童相談の状況について

1 児童相談の対応状況

相談種別	令和4年度				令和5年度				令和6年度			
	○児童相談所		◇市町村		○児童相談所		◇市町村		○児童相談所		◇市町村	
養護相談 (虐待相談を含む)	1,138	48.0%	697	68.5%	1,247	50.3%	694	81.2%	1,026	41.0%	719	74.1%
保健相談	0	0.0%	3	0.3%	1	0.0%	3	0.4%	0	0.0%	3	0.3%
障がい相談	955	40.3%	19	1.9%	982	39.6%	10	1.2%	1,210	48.4%	12	1.2%
非行相談	48	2.0%	5	0.5%	55	2.2%	3	0.4%	45	1.8%	5	0.5%
育成相談	204	8.6%	165	16.2%	173	7.0%	34	4.0%	180	7.2%	73	7.5%
その他	25	1.1%	128	12.6%	22	0.9%	111	13.0%	40	1.6%	158	16.3%
合計	2,370	100.0%	1,017	100.0%	2,480	100.0%	855	100.0%	2,501	100.0%	970	100.0%

※小数第二位四捨五入

○令和6年度の対応件数は、児童相談所で2,501件（＊前年度比：21件増/約0.8%増）、市町村は970件（＊前年度比：115件増/約13.5%増）

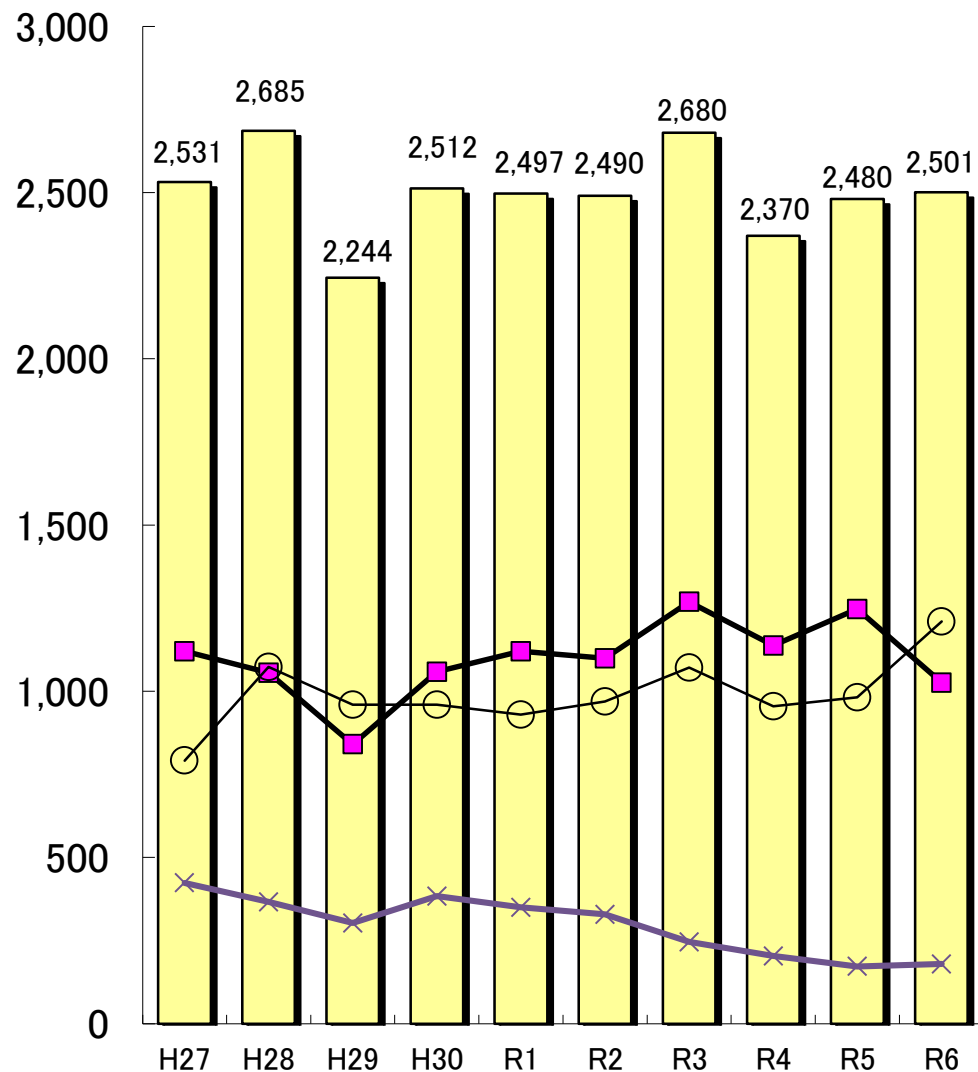
○相談種別は、児童相談所は障がい相談が最も多く、次いで養護相談、市町村では養護相談が最も多く、次いでその他の相談となっている。

《参考》相談の種類及び主な内容

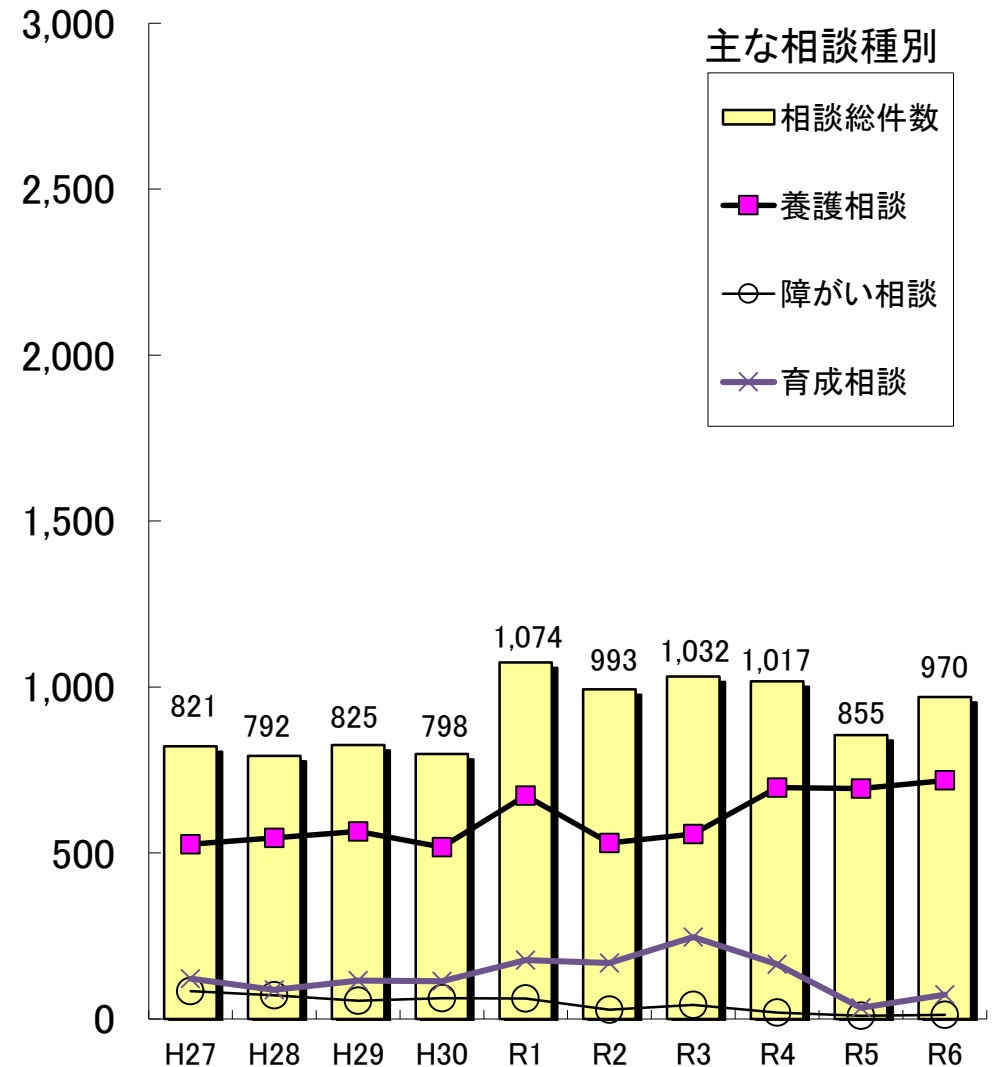
1. 養護相談	父又は母等保護者の家出、失踪、死亡、離婚、入院、稼働及び服役等による養育困難児、迷子、児童虐待等の環境的問題を有する児童、養子縁組に関する相談
2. 保健相談	低出生体重児、虚弱児、ツベルクリン反応陽転児、内部機能障がい、小児喘息、その他の疾患（精神疾患を含む）を有する児童に関する相談
3. 障がい相談	肢体不自由、視聴覚障がい、言語発達障がい、重症心身障がい、知的障がい、発達障がいに関する相談
4. 非行相談	
ぐ犯行為等相談	虚言癖、浪費癖、家出、浮浪、乱暴、性的逸脱等のぐ犯行為、問題行動のある児童、警察署からぐ犯少年として通告のあった児童等に関する相談
触法行為等相談	触法行為があったとして警察署から通告のあった児童、犯罪少年に関して家庭裁判所から送致のあった児童に関する相談
5. 育成相談	性格行動、不登校、適正（進学適性・職業適性・学業不振等）、育児・しつけに関する相談
6. その他の相談	上記のいずれにも該当しない相談

児童相談対応状況の推移

児童相談所

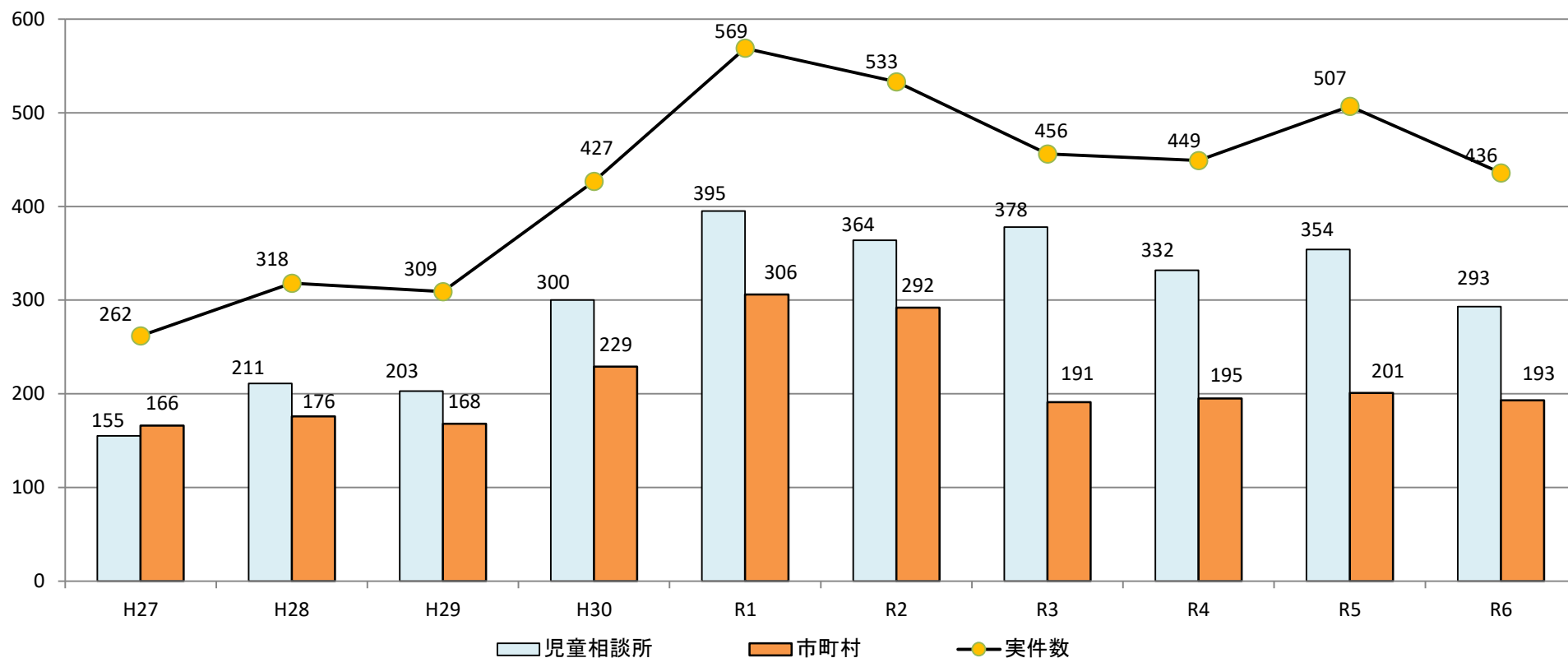


市町村



2 児童虐待相談の状況

○児童虐待相談対応(認定)件数の推移



○令和6年度の児童虐待相談の対応（認定）件数は、児童相談所が293件（前年度比約17.2%の減）、市町村が193件（前年度比約4.0%の減）となった。

○児童相談所と市町村で連携して関わった重複ケース50件を除くと、県内で新たに児童虐待相談として対応（認定）した件数は436件で前年度比約14.0%の減となった。

- ・令和4年度：449件《332件（児童相談所分）+195件（市町村分）-78件（重複分）=449件》
- ・令和5年度：507件《354件（児童相談所分）+201件（市町村分）-48件（重複分）=507件》
- ・令和6年度：436件《293件（児童相談所分）+193件（市町村分）-50件（重複分）=436件》

(1)- 1 受付経路(児童相談所)

区分	家族	親戚	近隣・知人	児童本人	市町村	児童委員	保育所	学校等	県	保健所	医療機関	警察等	その他	計
R4年度	26	4	10	2	40	0	4	33	69	0	5	123	16	332
	7.8%	1.2%	3.0%	0.6%	12.0%	0.0%	1.2%	9.9%	20.8%	0.0%	1.5%	37.0%	4.8%	100.0%
R5年度	14	1	15	4	48	0	3	49	72	0	6	132	10	354
	4.0%	0.3%	4.2%	1.1%	13.6%	0.0%	0.8%	13.8%	20.3%	0.0%	1.7%	37.3%	2.8%	100.0%
R6年度	14	2	11	5	35	0	1	34	62	0	3	123	3	293
	4.8%	0.7%	3.8%	1.7%	11.9%	0.0%	0.3%	11.6%	21.2%	0.0%	1.0%	42.0%	1.0%	100.0%

○児童相談所に寄せられた児童虐待相談は、警察等からが123件（前年度比9件の減）で最も多く、全体に占める割合は42.0%となっている。次いで県、市町村、学校等からとなっている。

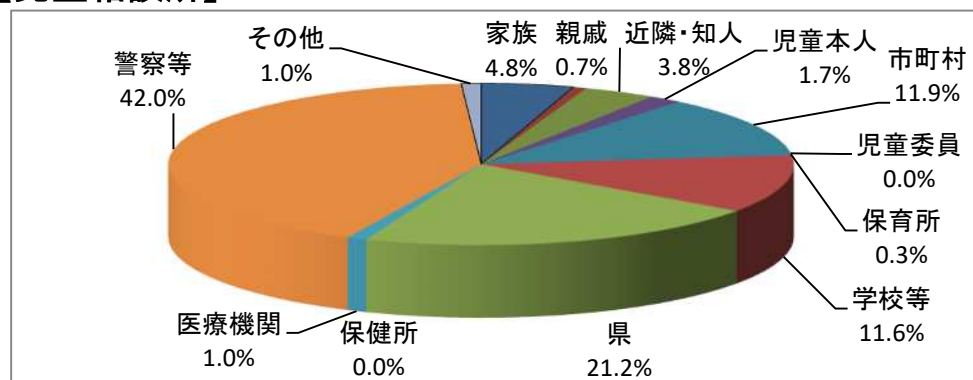
○児童相談所への通告件数については、令和4年度が786件、令和5年度が816件、令和6年度が665件となっており、前年度に比べ151件（約18.5%）減少している。

(1)- 2 受付経路(市町村)

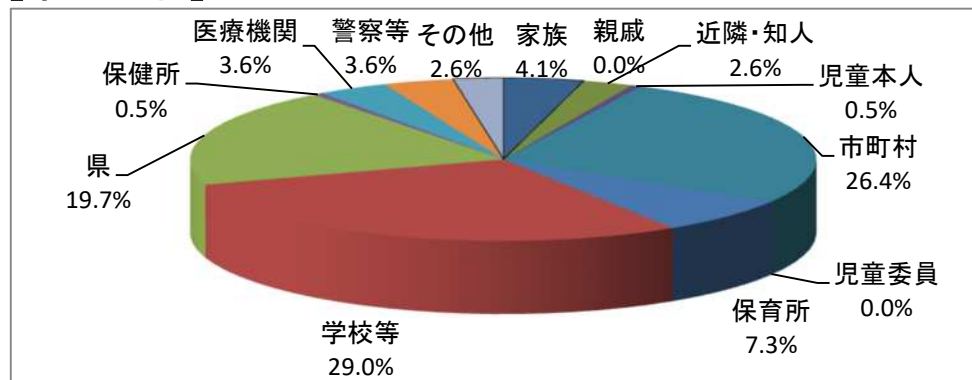
区分	家族	親戚	近隣・知人	児童本人	市町村	児童委員	保育所	学校等	県	保健所	医療機関	警察等	その他	計
R4年度	9	0	1	0	38	0	29	34	49	0	2	20	13	195
	4.6%	0.0%	0.5%	0.0%	19.5%	0.0%	14.9%	17.4%	25.1%	0.0%	1.0%	10.3%	6.7%	100.0%
R5年度	14	0	0	0	48	0	12	62	32	5	3	11	14	201
	7.0%	0.0%	0.0%	0.0%	23.9%	0.0%	6.0%	30.8%	15.9%	2.5%	1.5%	5.5%	7.0%	100.0%
R6年度	8	0	5	1	51	0	14	56	38	1	7	7	5	193
	4.1%	0.0%	2.6%	0.5%	26.4%	0.0%	7.3%	29.0%	19.7%	0.5%	3.6%	3.6%	2.6%	100.0%

○市町村に寄せられた児童虐待相談は、学校等からが最も多く、次いで、市町村（他市町村、他部署等）、県（児童相談所等）からとなっている。

【児童相談所】



【市町村】



(2)-1 主な虐待者(児童相談所)

区分	実父		実父以外の父親		実母		実母以外の母親		その他		計	
R4年度	136	41.0%	20	6.0%	162	48.8%	1	0.3%	13	3.9%	332	100.0%
R5年度	165	46.6%	28	7.9%	150	42.4%	1	0.3%	10	2.8%	354	100.0%
R6年度	120	41.0%	34	11.6%	133	45.4%	3	1.0%	3	1.0%	293	100.0%

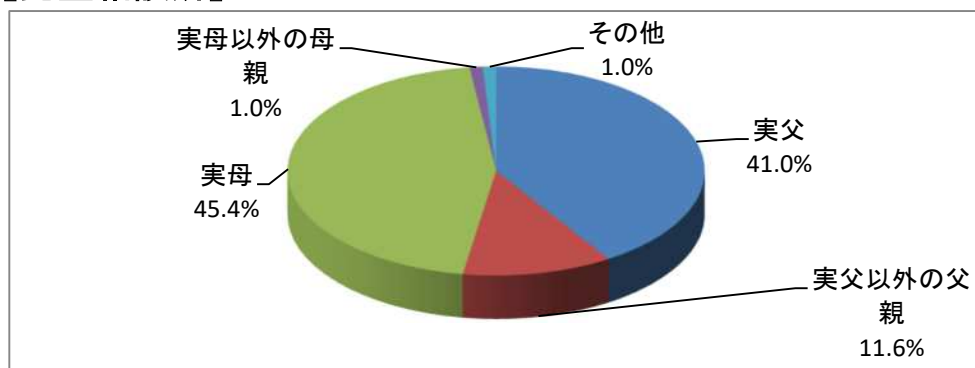
○主な虐待者は、実母が133件（45.4%）と最も多く、次いで実父が120件（41.0%）、実父以外の父親が34件（11.6%）となっている。

(2)- 2 主な虐待者(市町村)

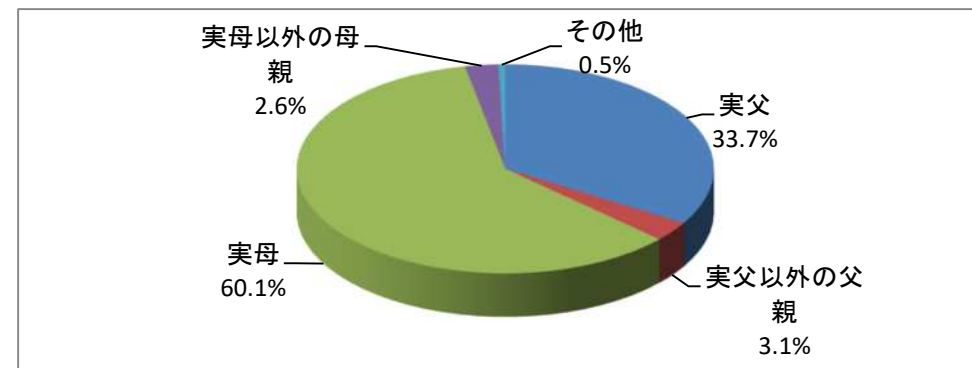
区分	実父		実父以外の父親		実母		実母以外の母親		その他		計	
R4年度	83	42.6%	7	3.6%	93	47.7%	0	0.0%	12	6.2%	195	100.0%
R5年度	80	39.8%	12	6.0%	99	49.3%	5	2.5%	5	2.5%	201	100.0%
R6年度	65	33.7%	6	3.1%	116	60.1%	5	2.6%	1	0.5%	193	100.0%

○主な虐待者は、実母が116件（60.1%）と最も多く、次いで実父が65件（33.7%）、実父以外の父親6件（3.1%）となっている。

【児童相談所】



【市 町 村】



(3)-1 虐待種別(児童相談所)

区分	身体的虐待		性的虐待		心理的虐待		保護の怠慢・拒否 (ネグレクト)		計	
R4年度	79	23.8%	5	1.5%	186	56.0%	62	18.7%	332	100.0%
R5年度	110	31.1%	5	1.4%	204	57.6%	35	9.9%	354	100.0%
R6年度	69	23.5%	3	1.0%	180	61.4%	41	14.0%	293	100.0%

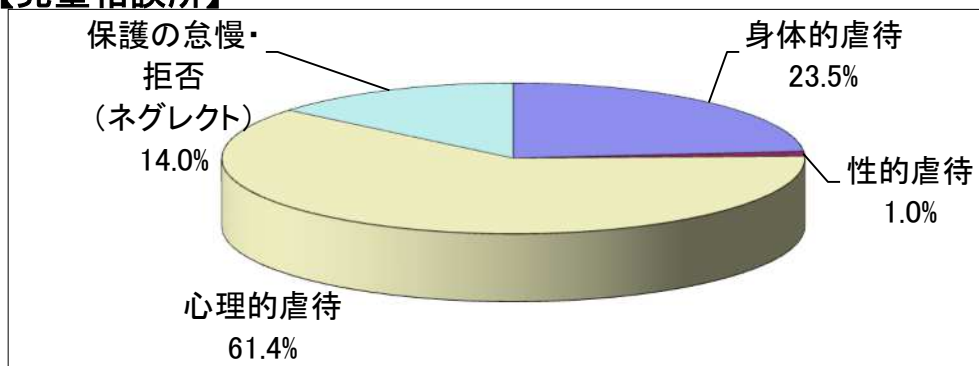
○虐待の種別を見ると、心理的虐待が180件（うち面前DV等が51件）（61.4%）で最も多く、次いで、身体的虐待が69件（23.5%）、保護の怠慢・拒否（ネグレクト）が41件（14.0%）となっている。

(3)- 2 虐待種別(市町村)

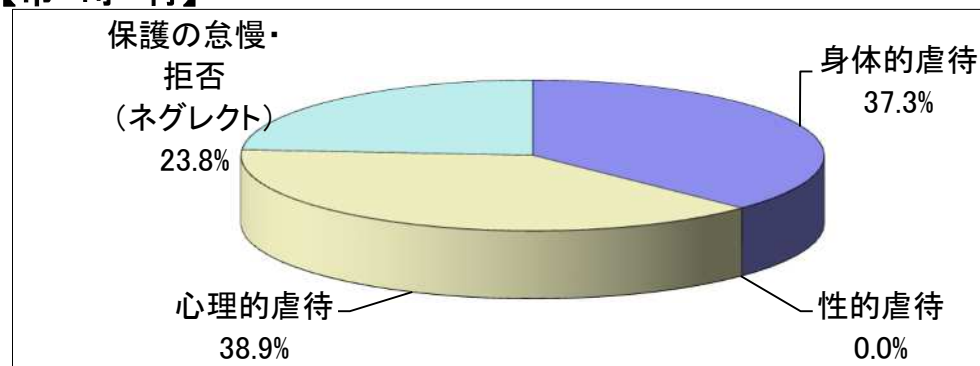
	身体的虐待		性的虐待		心理的虐待		保護の怠慢・拒否 (ネグレクト)		計	
R4年度	57	29.2%	0	0.0%	97	49.7%	41	21.0%	195	100.0%
R5年度	73	36.3%	1	0.5%	85	42.3%	42	20.9%	201	100.0%
R6年度	72	37.3%	0	0.0%	75	38.9%	46	23.8%	193	100.0%

○虐待の種別を見ると、心理的虐待が75件（うち面前DV等が21件）（38.9%）で最も多く、次いで、身体的虐待が72件（37.3%）、保護の怠慢・拒否（ネグレクト）が46件（23.8%）となっている。

【児童相談所】



【市 町 村】



(4)-1被虐待者の年齢(児童相談所)

区分	0歳～3歳未満 (0～2歳)		3歳～学齢前 (3～6歳)		小学生 (7～12歳)		中学生 (13～15歳)		高校生・その他 (16～18歳)		計	
R4年度	46	13.9%	93	28.0%	116	34.9%	58	17.5%	19	5.7%	332	100.0%
R5年度	43	12.1%	68	19.2%	153	43.2%	65	18.4%	25	7.1%	354	100.0%
R6年度	39	13.3%	81	27.6%	112	38.2%	40	13.7%	21	7.2%	293	100.0%

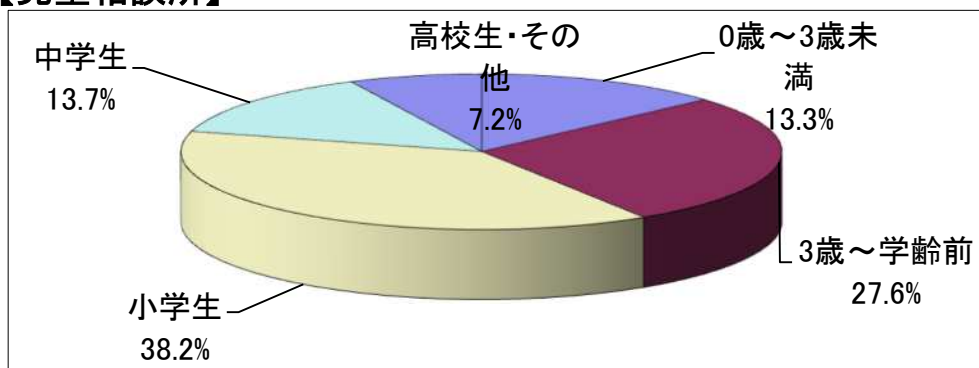
○虐待を受けている子どもの年齢をみると、小学生が112件（38.2%）、3歳～学齢前が81件（27.6%）、中学生が40件（13.7%）、0歳～3歳未満が39件（13.3%）等となっている。

(4)-2 被虐待者の年齢(市町村)

区分	0歳～3歳未満 (0～2歳)		3歳～学齢前 (3～6歳)		小学生 (7～12歳)		中学生 (13～15歳)		高校生・その他 (16～18歳)		計	
R4年度	36	18.5%	60	30.8%	69	35.4%	21	10.8%	9	4.6%	195	100.0%
R5年度	26	12.9%	67	33.3%	82	40.8%	19	9.5%	7	3.5%	201	100.0%
R6年度	35	18.1%	65	33.7%	73	37.8%	14	7.3%	6	3.1%	193	100.0%

○虐待を受けている子どもの年齢をみると、小学生が73件（37.8%）、3歳～学齢前が65件（33.7%）、0歳～3歳未満が35件（18.1%）、中学生が14件（7.3%）等となっている。

【児童相談所】



【市町村】

